

# 祈りをあきらめない

シリーズ～福音の力～

2020/09/27

## ルカによる福音書18章1～8節

イエスは、気を落とさずに絶えず祈らなければならないことを教えるために、弟子たちにたとえを話された。

「ある町に、神を畏れず人を人とも思わない裁判官がいた。ところが、その町に一人のやもめがいて、裁判官のところに来ては、『相手を裁いて、わたしを守ってください』と言っていた。裁判官は、しばらくの間は取り合おうとしなかった。しかし、その後考えた。『自分は神など畏れないし、人を人とも思わない。しかし、あのやもめは、うるさくてかなわないから、彼女のために裁判をしてやろう。さもないと、ひっきりなしにやって来て、わたしをさんざんな目に遭わすにちがいない。』」

それから、主は言われた。「この不正な裁判官の言いぐさを聞きなさい。まして神は、昼も夜も叫び求めている選ばれた人たちのために裁きを行わずに、彼らをいつまでもほうっておかれることがあるだろうか。言うておくが、神は速やかに裁いてくださる。しかし、人の子が来るとき、果たして地上に信仰を見いだすだろうか。」

# 「祈り」について

- 一人で祈られるイエス

- 「イエスは人里離れた所に退いて祈っておられた。」5:16・「そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。」6:12,9:18,9:28他

- 感謝の祈りをささげるイエス

- 「イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで、それらのために賛美の祈りを唱え」9:16,22:19

- 祈り続けることの大切さ(11章)

- 「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」11:9

# 「やもめ」について

- **単に夫に先立たれた人以上の意味を持つ**
  - 「不幸な人」の代表
  - 律法にはやもめを守る掟がたくさんある＞落ち穂拾い
  - 社会的弱者・経済的困窮者
- **ルカ(のイエス様)はやもめへの関心が高い**
  - ナインのやもめの息子のよみがえりの奇跡(7章)
  - 「やもめの家を食い物にする」律法学者(20:47)
  - 貧しいやもめの献金のエピソード(21章)
- **なぜだろう？**
  - マタイ1箇所・マルコ2箇所・ヨハネ0箇所
  - ルカ自身がやもめの子だったのか
  - やもめとなったイエス様の母マリアとのつながり？

# やもめと裁判官のたとえ話

- このたとえ話の目的

- 「イエスは、**気を落とさずに絶えず祈らなければならぬ**ことを教えるために、弟子たちにたとえを話された。」

- 冷血無慈悲な裁判官

- 「神を畏れず人を人とも思わない裁判官」
- ユダヤ人にあるまじき人物

- しつこいやもめ

- 「その町に一人のやもめがいて、裁判官のところに来ては、『相手を裁いて、わたしを守ってください』と言っていた。」> **不当な扱いを受けていた**

# やもめと裁判官のたとえ話

## ●このたとえ話の目的

- 「イエスは、**気を落とさずに絶えず祈らなければならぬ**ことを教えるために、**前**話された。」

## ●冷血無慈悲な裁判官

- 「神を畏れず人を人とも思
- ユダヤ人にあるまじき人物

## ●しつこいやもめ

- 「その町に一人のやもめがいて、裁判官のところに来ては、『相手を裁いて、わたしを守ってください』と言っていた。」> **不当な扱いを受けていた**

かなり無理のある**両極端**な登場人物！

## 困った裁判官

- **しつこく訴え続けたやもめ**

- 「裁判官は、しばらくの間は取り合おうとしなかった」
- 「あのやもめは、うるさくてかなわない…ひっきりなしにやって来て、わたしをさんざんな目に遭わすにちがない。」(目に隈を作らせる)
- 彼女には他に手段はなかった

- **やもめのために裁判をすることにした裁判官**

- 「あのやもめは、うるさくてかなわないから、彼女のために裁判をしてやろう。」
- やもめを憐れに思ったのではなく、ただうるさいから



## このたとえ話が意味すること

- 無慈悲な裁判官でさえしつこく訴えたやもめの要求に折れた
  - 「**まして神は**、昼も夜も叫び求めている選ばれた人たちのために裁きを行わずに、彼らをいつまでもほうっておかれることがあるか。」
  - **憐れみに満ちた神が祈りに耳を傾けられないはずはない！**
- 「**信仰**」を持って祈り続ける人がいるだろうか？
  - 「しかし、人の子が来るとき、果たして地上に信仰を見いだすだろうか。」
  - 「**気を落とさずに絶えず祈らなければならない**」

## 祈りをあきらめない

- **神の子であるイエス様でさえ、この地上では祈り続けられた**
  - 一人で・徹夜で・公に・十字架の上でも
- **主なる神は弱い者の味方である**
  - 「寄留者、孤児、寡婦の権利をゆがめる者は呪われる。」申命記27:13
- **神はしつこく祈り続ける者に弱い？**
  - 「昼も夜も叫び求めている選ばれた人…彼らをいつまでもほうっておかれることがあるか。」

祈りの信仰をイエス様に見せてやろうじゃないか！